

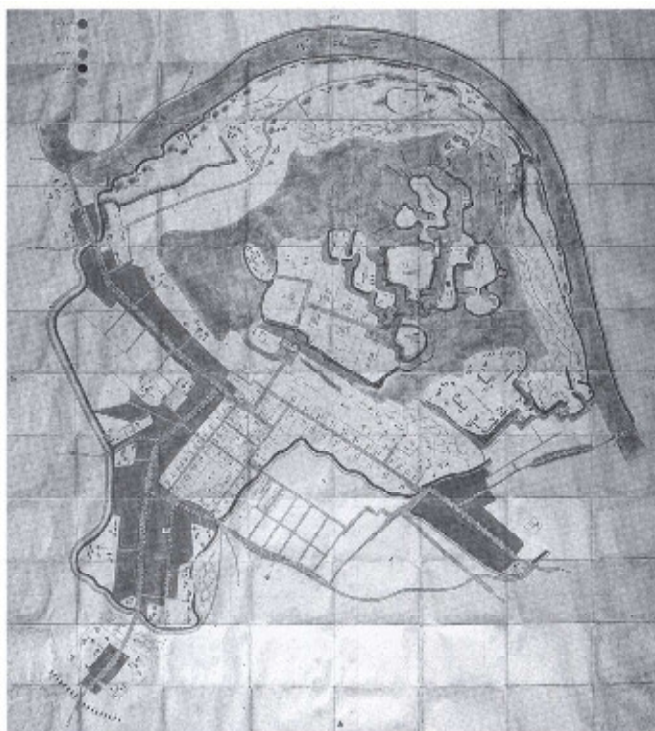
さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと
 第49号

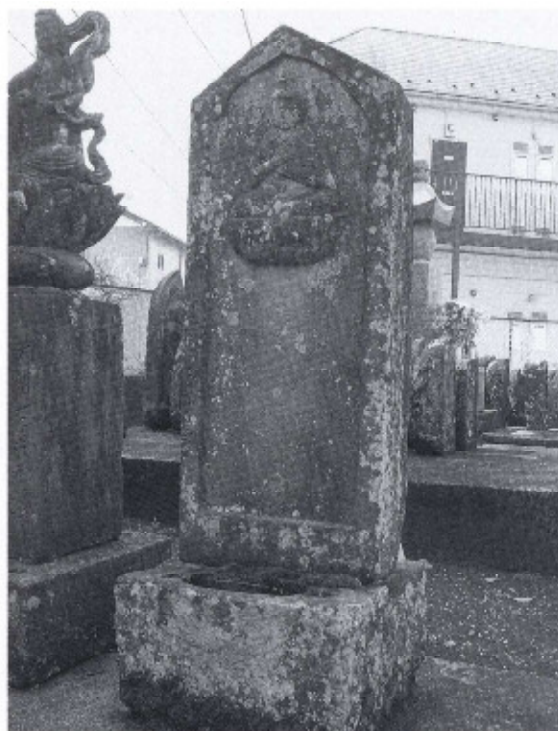
平成24年度新指定文化財

さいたま市教育委員会は、平成25年3月27日付けで、「いわつぎじょうならびにさむらい やしきじょう か まちまでそう え せ岩槻城 井 侍 屋敷 城下町迄総絵図」と「なかこうやく し どう げんろくじゅうさんねん む じき く ぼうとう中郷薬師堂の元禄十三年無食供養塔」の2件をさいたま市の文化財として指定しました。

これにより、市内に所在する市指定文化財は444件、国・県指定を含めた総件数は527件となります。また、この他に、市内には6件の国登録有形文化財があります。(平成25年4月1日現在)



▲岩槻城井侍屋敷城下町迄総絵図
 (写真提供：さいたま市立博物館)



▲中郷薬師堂の元禄十三年無食供養塔

●さいたま市の新指定文化財(平成24年度)

種別	名称	員数	所在地	所有者
有形文化財 (歴史資料)	岩槻城井侍屋敷城下町迄総絵図	1 鋪	さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番地2号(さいたま市立博物館)	さいたま市
有形民俗文化財	中郷薬師堂の元禄十三年無食供養塔	1 基	さいたま市西区大字指扇3934番地	宗教法人 福正寺

新指定 有形文化財(歴史資料) 岩槻城并侍屋敷城下町迄総絵図

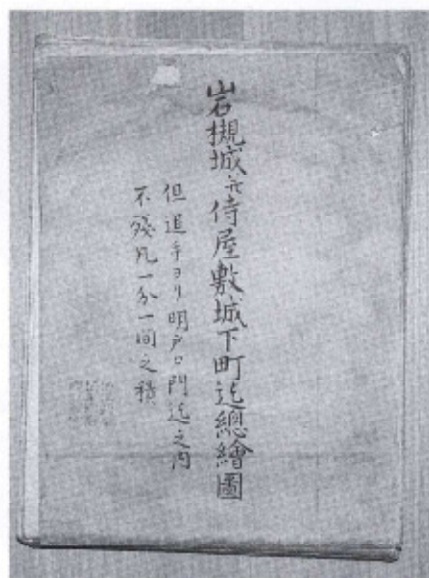
本絵図は、さいたま市岩槻区に所在した岩槻城の絵図で、縦295.5cm、横266.5cmの大判の絵図です。

一般に城郭絵図には、城下町まで含めた広義の城郭全体を描いた総絵図、狭義の城郭部分のみを描いた城郭図、個々の曲輪を描いた部分図、殿舎の指図(建築図)など、様々なものがあります。本絵図では、大構(総構の土塁と堀)までの範囲全体と共に、大構外の街道筋に形成された町場等までを描いており、広義の城郭全体を描いた総絵図に当たります。

本絵図紙背の外題には、「一分一間之積」との注記があり、本絵図の狭義の城郭部分については、600分の1の縮尺による、いわゆる分間図として調製されたと考えられます。

絵図としての図幅や使用された料紙の質、簡素ながらも丁寧な描画・彩色などは、本絵図が単なる写しではなく、公的な目的をもって作成されたことを物語っています。総体として、本絵図に盛り込まれた情報は、本絵図が岩槻藩政において作成されたものであることを窺わせています。その時期は、江戸時代中期から後期にさしかかる、18世紀半ば前後と考えられます。

本絵図は、近世中期から後期における岩槻城の全体像を示す絵図であり、概ね18世紀半ば頃の岩槻城と城下町に関する様々な情報が記録されています。この点で、岩槻城・城下町のあり方を把握する上で、重要な史料の一つとすることができます。また、藩政において作成されたと考えられることから、岩槻藩における城郭図の作成に関する基本史料となるものでもあります。さらに、その描画法や分間図としての作成など、近世地図史に関する史料としても意義あるものです。以上により、市指定有形文化財(歴史資料)として、指定されました。



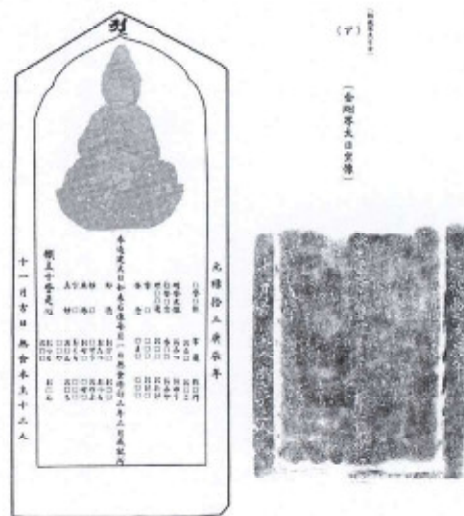
▲外題 (写真提供：さいたま市立博物館)

新指定 有形民俗文化財 中郷薬師堂の元禄十三年無食供養塔

この供養塔は、西区指扇にある中郷薬師堂の境内にあり、本塔と台座からなる石塔です。本塔は、高さ120.2cm、幅48.3cm、厚さ23.5cm、台石は、高さ32.2cm、幅54.0cm、厚さ53.0cmです。造立の年代は、紀年銘により、元禄13年(1700)です。造立の目的は、この石塔に刻まれた「奉造建大日如来石像毎月一日無食修行三年三月成就所」との銘により、大日像を建立し、3年3か月にわたる無食の修行が成就したことを記念して造立されたものであるということが記されています。この中には、願主 十誉是心という銘があり、この無食の供養の行が十誉是心という人物の発願のもとに行われたということが分かります。

元禄14年に建立された福寿庵の百観音にも十誉是心の銘があり、それに先立つものとして、十誉是心の宗教活動が分かる資料です。

本件は、無食供養という、限られた地域、時代に受容された



▲銘文(右手はその拓本)

民間信仰の存在を伝える貴重な物証であり、特に、それが江戸時代中期に市内西区指扇地区とその周辺に定着・継受される上で、十誉是心という行者の果たした役割は大きく、無食供養定着の起点ともいえる本件は、地域に密着して活動した行者の活動の記録としても貴重です。さらに本件には、信仰の主導者としての十誉是心の名と共に、結縁者として多数の女性名等が記されており、そこに含まれる情報も豊富です。

以上により、市指定有形民俗文化財として指定されました。

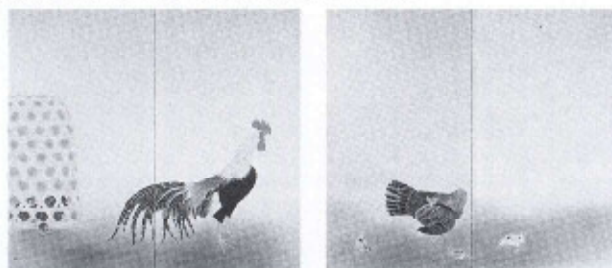
●さいたま市の指定文化財の解除(平成24年度)

種別	名称	員数	所在地	所有者	理由
天然記念物	満福寺のヒヨクヒバ	1株	さいたま市北区日進町 2丁目1003番地	宗教法人 満福寺	倒壊

TOPICS

●「紙本着色鳴鶏 小茂田青樹筆」が、県指定有形文化財(絵画)として指定されました。

埼玉県立近代美術館所蔵の「紙本着色鳴鶏 小茂田青樹筆」〔1双〕が、平成25年3月12日付けで、埼玉県教育委員会より指定されました。



(写真提供：埼玉県教育委員会)

※小茂田青樹(1891~1933)
川越出身の日本画家。
「紙本着色鳴鶏 小茂田青樹筆」は、
昭和5年(1930)の作品です。

◀紙本着色鳴鶏 小茂田青樹筆

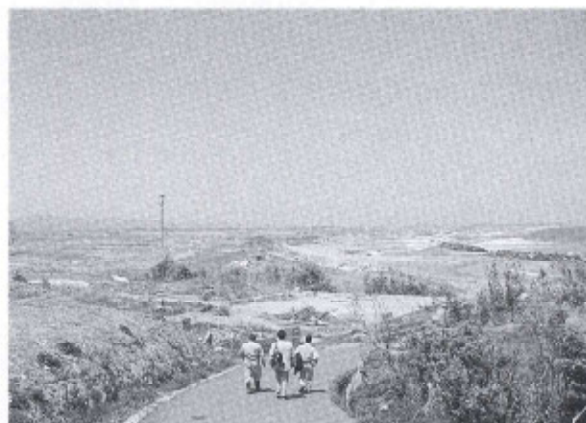
●さいたま市新指定文化財の指定書交付式を行いました。

平成25年3月27日付けで指定した新指定の文化財について、指定書交付式を5月10日(金)にさいたま市役所9階応接室で行いました。

福島からこんにちは ~東日本大震災復旧・復興支援派遣職員レポート~

福島県には、全国各地から私(橋本)を含めて9人の埋蔵文化財担当職員が、今年4月から派遣されています。当地での主な業務は、東日本大震災の復興事業に伴う、埋蔵文化財の試掘・確認調査などです。福島県の沿岸部には、古代の製鉄遺跡や横穴式古墳、製塩遺跡など、地域特有の遺跡が多く、調査には予備知識が欠かせません。県や各市町の担当の方々にご助言を頂きながら、協力して調査を進めています。

被災地では、防潮堤の再建や水田の再整備、復興住宅や道路の建設などの事業も始まり、重機やダンパーが賑やかに動いています。埋蔵文化財の調査もかなりの規模になることが見込まれており、派遣職員一同、速やかな復興のため尽力しようと意気込んでいます。



▲復興事業が計画されている相馬市の沿岸部

(文化財保護課 埋蔵文化財係 主任 橋本 玲未)

さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 平成25年7月から9月

市内で開催されるお祭りに指定文化財が参加するほか、「見沼通船堀開閉実演」や「最新出土品展」を文化財保護課主催で予定していますので、ぜひお出かけください。見学や公開に関する詳しい内容は、さいたま市ホームページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候によっては、中止や延期の場合があります。

	名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 内 容
1	秋葉ささら獅子舞	7月13日(土) 10時から 秋葉神社(西区中釘818)・永昌寺(西区中釘1699) 10時に中釘自治会館を出発し、11時50分頃秋葉神社境内で獅子舞を披露します。また、16時より永昌寺三尺坊でも披露します。
2	宿の祭ばやし	7月13日(土) 13時30分から 大久保神社(桜区宿69) 大久保神社に奉納される祭囃子で、宿地区を神輿と共に巡行します。祭りの終盤には、塚本、五関の屋台車と競演があります。
3	神田の祭りばやし	7月13日(土) 14時30分から 八雲神社(桜区神田550) 江戸神田囃子の系統の五人囃子で、八雲神社から神輿とともに、月読社をはじめ神田地区内を巡行します。
4	田島の獅子舞	7月13日(土) 16時から 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
5	駒形の祭ばやし	7月14日(日) 12時から 須賀神社(緑区中尾1430-3) 須賀神社の祭礼のため、駒形地区を神輿とともに巡行します。宵山(前日の夜)には高校生の演奏のほか、オカメ・ヒョットコや獅子舞も披露されます。
6	砂の万灯	7月14日(日) 16時から 八雲神社(見沼区東大宮1-13-9) 7組の万灯組が、悪疫退散等を祈願して各組の万灯を境内に並べます。夕方から万灯は点燈され、違う印象が楽しめます。
7	浦和まつり	7月21日(日) 14時40分から 中山道浦和宿(浦和区仲町他) 浦和木遣保存会が、木遣歌を歌いながら、旧中山道を八雲神社から調神社まで纏をふって歩きます。駒形の祭ばやし、宿の祭ばやし、神田の祭りばやし各屋台車で披露します。また、「仲町獅子王祭獅子頭」を仲町御酒所にて公開します。 ※お問い合わせ (株)さいたま観光国際協会(☎048-647-8338)
8	氷川女體神社の名越祓え	7月31日(火) 15時から 氷川女體神社(緑区宮本2-17-1) 悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、人型に切った紙を川へ流し、穢れを取り除いた後、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。
9	見沼通船堀開閉実演	8月21日(火) 第1回10時から 第2回13時から(それぞれ1時間半程度) 見沼通船堀東縁開門 一の関・二の関(緑区大間木、下山口新田) 国史跡「見沼通船堀」の東縁で実際に水位を調節し、船を浮かべます。「見沼通船舟歌」(市指定無形民俗文化財)を踊りとともに公開します。
10	深作ささら獅子舞	8月24日(土) 16時から 深作氷川神社(見沼区深作2-15-4) 三頭の獅子と天狗による舞を行い五穀豊穡等を祈願します。境内に四本柱を立て、竹で天幕を支えた土俵で行う動きの激しい舞です。
11	指扇の餅搗き踊り	8月24日(土) 17時30分から 滝沼川第2遊水地(西区指扇4406) かつて指扇地区内の家の庭で行われた餅搗き踊りです。曲芸のような動作をしながら餅を搗く「曲搗き」等を披露します。
12	岩槻の古式土俵入り(笹久保地区)	9月15日(日) 15時から 篠岡八幡大神社(岩槻区笹久保810) 幼稚園から小学生までの子どもたちが、化粧回しを身につけ、古くから伝わる土俵入りの型を演じます。子どもの健康、安全を祈願して行います。
13	最新出土品展	平成24年度を中心に市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。(9月から12月にかけて、市内の博物館・区役所等で巡回展示します。) 9月10日(火)～9月23日(月・祝) 9時～16時30分 さいたま市立博物館
14	遺跡講演会	9月14日(土) 13時から さいたま市立大宮図書館視聴覚ホール 真福寺貝塚などを例にあげ、縄文時代の文化や暮らしについて講演会を開催します。 講師 國學院大学名誉教授 小林達雄氏

※与野文化財資料室の一時休館について

与野文化財資料室は、建物の耐震工事のため、10月から約4ヶ月間(予定)休館いたします。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

さいたま市文化財時報

第49号

平成25年6月28日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>